



ワープモードの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- ワープモードに関する情報, 1 ページ
- ワープモードの注意事項および制約事項, 1 ページ
- ワープモードのイネーブル化とディセーブル化, 2 ページ
- ワープモードのステータスの確認, 3 ページ

ワープモードに関する情報

Cisco Nexus 3548 デバイスは、Algorithm Boost Engine (Algo Boost Engine) と呼ばれるハードウェアコンポーネントを使用して、ワープモードと呼ばれる転送メカニズムをサポートします。ワープモードでは、転送テーブルを单一のテーブルに統合してアクセスパスを短縮することにより、フレームおよびパケットでより高速な処理がされます。ワープモードでは、遅延が最大で 20% 短縮されます。Algo Boost Engine の詳細については、[アクティブバッファモニタリングの概要](#)を参照してください。

ワープモードの注意事項および制約事項

ワープモードには次の注意事項と制限事項があります。

- ワープモードは、通常の転送より最大で 20% 優れたスイッチ遅延を提供します。
- ワープモードでは、ユニキャストルートテーブルは減少します。ルートテーブルは 24000 から 4000 エントリに減少します。ホストテーブルと MAC テーブルは 64000 から 8000 エントリに減少します（マルチキャストルートテーブルは 8000 エントリのままで）。
- ワープモードでは、次の機能はサポートされていません。
 - Egress Routed Access Control Lists (RACL)
 - ポート アクセス コントロール リスト (ACL)

- 同等コストの複数パス (ECMP)
- IP リダイレクト

ワープ モードのイネーブル化とディセーブル化

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	switch# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	switch(config)# hardware profile forwarding-mode warp	デバイスのワープ モードをイネーブルにします。ワープ モードをディセーブルにするには、このコマンドの no 形式を使用します。デフォルトは、ディセーブル化されたワープ モードです。
ステップ 3	switch(config)# copy running-config startup-config	(任意) リブートおよびリスタート時に実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションにコピーして、変更を永続的に保存します。
ステップ 4	スイッチをリロードします。	—

次に、デバイスのワープ モードをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# hardware profile forwarding-mode warp
Warning: This command will take effect only after saving the configuration (copy r s)
switch(config)# copy running-config startup-config
switch(config)#

```

次に、デバイスのワープ モードをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configuration terminal
switch(config)# no hardware profile forwarding-mode warp
Warning: This command will take effect only after saving the configuration (copy r s)
switch(config)# copy running-config startup-config

```

ワープモードのステータスの確認

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	switch# show hardware profile forwarding-mode	ワープモードに関する情報と、ホスト、ユニキャスト、マルチキャスト、およびレイヤ2のTernary Content Addressable Memory (TCAM) のサイズを表示します。

次に、ワープモードに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware profile forwarding-mode
=====
forwarding-mode : warp
=====
host      size   = 8192
unicast   size   = 4096
multicast size   = 8192
l2        size   = 8192
switch#
```

ワープ モードのステータスの確認